

国際油濁補償基金 ガウテ・シバートセン事務局長の表敬訪問

この度当協会は国際油濁補償基金(IOPCF)*のガウテ・シバートセン事務局長らの表敬訪問を受け、友田副会長、森重理事長他と面談を概要以下の通り行いました。

【面談概要】

日付：2023年4月14日（金）

場所：日本船主協会

出席者：ガウテ・シバートセン事務局長、奥川政策担当官（IOPCF）

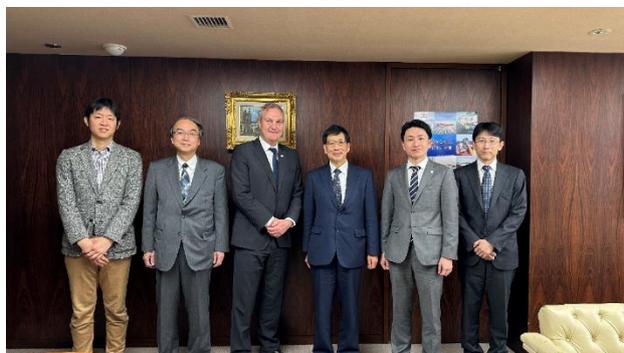
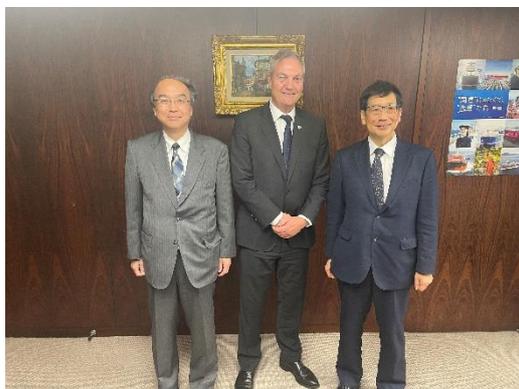
友田副会長、森重理事長、伊藤国際担当部長、他（日本船主協会）

面談の冒頭友田副会長から先月ロンドンでの同基金訪問受け入れへの謝辞を述べ、森重理事長とともに、シバートセン事務局長の当協会再訪問に対し心から歓迎の意を表し、今年10月に日本で開催予定のIOPCFおよび日本海事センター共催による国際セミナーを楽しみにしている旨述べました。

これに対しシバートセン事務局長から、日本は自身の出身国であるノルウェー同様世界屈指の海運大国であり、IOPCF会合でも重要な役割を担っていること、また近時発生したフィリピンでの事故では日本も技術協力等を積極的に行っていると伺っており、今後も政府・民間各方面からあらゆる問題に対し協力を期待したい旨述べられました。

この他、P&Iクラブ以外の保険者に係る問題やIMO諸条約等について幅広く意見交換を行いました。

*タンカーからの特定の油流出等で船主の責任限度額を超えた汚染損害が発生した際、被害者への補償を行う機関。油受取人が拠出する補償基金を管理している。



シバートセン事務局長(中央)友田副会長(右)森重理事長(左)